臨床検査技術学科評価表（２０２０年度）

１．学校(学科)の教育目標

（１）国家試験について

国家試験合格率は昨年度、100%を目標として努力したが 65.2%と大幅に下回ってしまった。全国平均 71.5%より下回ってしまいました。この結果を真摯に受け止めて、抜本的な改革を行う。担当教員の配置換えや学生目線に立ち戻り合格ラインぎりぎりの学生対応に焦点を当てる。教員一同、国家試験対策に向けて知恵を出し合い再び 100%を目標とする。

（２）就職・進学に関して

学生の希望に添った就職、進学ができるように、就職担当教員が入試キャリア支援室と連携しながら支援体制を強化する。特に、１年生から入試キャリア支援室スタッフによる未来ノートを利用した講義も取り入れながら、就職に対するモチベーションを高める。

（３）ドロップアウト者について

中途ドロップアウト者は 22 名（1 年生９名、2 年生 10 名、3 年生３名）であった。退学理由の内訳は病気による（10 名）、進路変更（５名）、学力不足（７名）、学生目線を意識し事前面談等により、少なくするよう努める。

（４）ＦＤ について

臨床検査技師会による医学検査学会や各種専門医学会に積極的に参加し専門分野の研鑽を行い学生に、より良い情報の伝達に努める。各種研修会などへの積極的な参加を行う。さらに、臨床検査学教育学会での研究発表も積極的に行っていく。

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

（１）財務体質の安定化

①効率的な人材配置

教育の質の低下や教員の労働過多を引き起こさないように配慮しながら、効率的な人材配置を行う。

②経費削減

学科全体として無駄を省き、経費削減を図っていく。また検査試薬等の相見積もりを行い、発注先の見直し経費削減に努める。

（２）組織構造の改善

①組織構造の改善

社会情勢や学生の多様化に対応し、現状に即した組織構造の改善を行う。

②情報の共有化

組織内での情報共有を強化し、相互理解を深める。特に各学年担任と教科担当者との交流をしっかり行い、原則、週一度開催される学科会議でも話し合って学生指導をきめ細かく行う。

（３）国家試験合格率

国家試験合格率を高水準に保つことが学生数の確保に直接つながることから、最優先事項として対応する病院実習終了後、９月より毎日朝テストを実施、当日授業終了後、解説と類似問題を行う。卒業発表後、国家試験対策補習を２月２日から重点的に行い専任及び厳選した非常勤講師による的確な模擬試験を国家試験まで継続する。特に模擬試験結果の悪い学生に対して担任が面談すること、科目別に冬期補修を増やすなど、きめ細かな指導方法を考えて取り入れていく。

３．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目的、人材育成

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
①教育理念・教育目的・育成人材像は明確に定められているか	4　[3]　2　1
②学校における職業教育の特色は明確になっているか	[4]　3　2　1
③教育理念・教育目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているか	[4]　3　2　1

① 課　題

・教員の高齢化対策

② 今後の改善方策

・教員の入れ替えを視野に教科別新教員の調査を行う。

③ 特記事項

本学科は新任教員の定着があまりなく、指導方法に問題があると考えられます。少なくても後任教員の育成は学科のレベルアップや教育理念等を継承する上で重要と考えます。待遇等にも焦点が当てられますがやりがいのある職場をめざし、後任を育てられない基質は極力なくす方向で進んでいきたい。

（２）学校運営

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
①教育方針や教育目標等に沿った運営方針が策定されているか	4　[3]　2　1
②運営方針に沿った事業計画（人事・財務・教務）が策定されているか	[4]　3　2　1
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	[4]　3　2　1
④人事・給与に関する制度が整備してあり有効に機能しているか	4　[3]　2　1
⑤業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4　[3]　2　1
⑥教育活動に関する情報公開が適切になされているか	[4]　3　2　1
⑦情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	4　[3]　2　1

① 課　題

学内の常識が必ずしも正解とは限らない。

② 今後の改善方策

教育業界と医療業界相互を理解する上で、各種研修会や医療系学会に積極的に参加し学生に反映出来るよう活動の場を広げる。

③ 特記事項

特定の教員だけでなく全教員が参加できる環境を整える。

（３）教育活動

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	[4]　3　2　1
②修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	[4]　3　2　1
③教育理念・到達目標に沿った教育課程は体系的に編成しているか	[4]　3　2　1
④講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	[4]　3　2　1
⑤学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4　[3]　2　1

⑥職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	[4] 3 2 1
⑦キャリア教育を実施しているか	[4] 3 2 1
⑧成績評価･単位認定、進級･卒業判定の基準を明確化し、適切に運用しているか	[4] 3 2 1
⑨資格取得の指導体制が整備され、適切に運用されているのか	[4] 3 2 1
⑩人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 [3] 2 1
⑪関連分野における優れた教員を確保するための活動が行われているか	[4] 3 2 1
⑫先端的な知識・技能等を修得するための研修や教職員の指導力育成など資質向上の取組が行われているか	4 [3] 2 1
⑬教員の組織体制が整備され、適切に運用されているのか	[4] 3 2 1

① 課　題

職員の高齢化

② 今後の改善方策

学園全体の取り組みが必要、学科任せではなく活発な意見交換が望まれる。

（4）学修成果

評　価　項　目	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2、不適切‥1
①就職率の向上が図られているか	[4] 3 2 1
②資格取得率の向上が図られているか	4 3 [2] 1
③入学者に対する卒業率はどうか	[4] 3 2 1
④実習委託をする場合、その目的、要望事項等及びそれに対する評価項目の依頼を明確にしているか	[4] 3 2 1
⑤インターンシップについて、依頼先の担当者と十分なコミュニケーションをとり、依頼した評価法どおりに評価されているか	[4] 3 2 1

① 課　題

就職に対する意思決定不明者が多い現実

② 今後の改善方策

入学時から資格取得の重要性かつ就職についての指導を行う（未来ノートの活用等）

③ 特記事項

本学科はキャリアサポート室と連携をとり就職に関し全力で取り組んでいる。

オスキー教育を取り入れて、臨地実習へのスムーズな導入を図ると共に医療人としての学生の質を上げて就職試験合格率の向上を試みる。

（5）学生支援

評　価　項　目	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2、不適切‥1
①進路・就職に関する支援体制は整備され、学生や保護者に周知されているか	[4] 3 2 1
②学生相談に関する体制は整備されているか	[4] 3 2 1
③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	[4] 3 2 1
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	[4] 3 2 1
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 [3] 2 1
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	[4] 3 2 1

⑦保護者との連携は適切か	4　[3]　2　1
⑧卒業生への支援体制はあるか	[4]　3　2　1
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	[4]　3　2　1
⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	[4]　3　2　1

① 課　題

就職試験合格率

② 今後の改善方策

学生の希望する進路決定へ向けた支援を積極的に行う。具体的には模擬面接、履歴書やエントリーシートおよび小論文作成などの指導を行う。

③ 特記事項

就職説明会の充実、学生目線を理解し就職意欲の上昇を目指す。

（6）教育環境

評　価　項　目	適切‥4、ほぼ適切‥3、 やや不適切‥2、不適切‥1
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	[4]　3　2　1
②実習室の機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4　[3]　2　1
③学校施設・機器備品等が定期的に管理・点検されているか	[4]　3　2　1
④図書室及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	[4]　3　2　1
⑤防災に対する体制は整備されているか	[4]　3　2　1

① 課　題

高額な医療機器の購入

② 今後の改善方策

毎年度の予算に計画性を取り入れ２年計画・３年計画を視野に入れる。

③ 特記事項

年に数回しか使用しない機器が故障、中古品も出回らない特殊な高額機器に対し工夫をしながら対応している。

（7）学生の受入れ募集

評　価　項　目	適切‥4、ほぼ適切‥3、 やや不適切‥2、不適切‥1
①高等学校に対する情報提供等の取組が行われているか	[4]　3　2　1
②学生募集活動は、適正に行われているか	[4]　3　2　1
③学生納付金は妥当なものとなっているか、入学辞退者に適正な取扱いを行っているか	[4]　3　2　1
④生徒募集の効果と実績を検証しているか	4　[3]　2　1

① 課　題

今年度は遠隔学校案内等が増加（新型コロナウイルス対策のため）

② 今後の改善方策

新型コロナウイルス対策がワクチン等で鎮静化したら活発に行える。今は可能な限り感染対策に務める。

③ 特記事項

ZOOM を利用した学校案内等を行った。

（8）財務

評　価　項　目	適切‥4、ほぼ適切‥3、 やや不適切‥2、不適切‥1
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	[4]　3　2　1
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	[4]　3　2　1
③予算及び計画に基づき適正な執行管理を行っているか	[4]　3　2　1
④財務について会計監査が適切に行われているか	[4]　3　2　1
⑤財務情報の公開の体制準備はできているか	[4]　3　2　1

① 課　題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

（9）法令等の遵守

評　価　項　目	適切‥4、ほぼ適切‥3、 やや不適切‥2、不適切‥1
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4　[3]　2　1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	[4]　3　2　1
③自己評価の実施と問題点改善に努めているか	[4]　3　2　1
④自己評価結果を公開しているか	[4]　3　2　1
⑤学校関係者評価を実施して評価結果を公開しているか	[4]　3　2　1

① 課　題

教職員のコンプライアンスに対しての理解度の低下が見られる。

遅刻・外出等、連絡不徹底

② 今後の改善方策

学科長に直接連絡がない状態が数年続いたが改善傾向にある。

（１０）社会貢献・地域貢献

評　価　項　目	適切‥4、ほぼ適切‥3、 やや不適切‥2、不適切‥1
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	[4]　3　2　1
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4　[3]　2　1

① 課　題

時間的な余裕等が課題となる

② 今後の改善方策

充分な情報提供を心がける

③ 特記事項

NPO 法人等の話を授業に組み込み情報公開を行っている。

（１１）国際交流

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
①留学生の受入れに努めているか	[4]　3　2　1

① 課　題

入学、卒業、就職等がスムーズに行かない傾向が見られる。

② 今後の改善方策

授業内容についていけない悩み等、充分なフォローが必要と思われる。

③ 特記事項

今年度は無事卒業・国家試験突破、本人の希望通り日本で就職が決まった。